

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等ディサービスpono				
		公表日				
		2025 年 11 月 28 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		1階2階共に広いスペースがある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8		余裕をもって配置できている日が多い。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		8		階段がある為、全てがバリアフリーではない。全てをバリアフリー化する事は困難だが、特性に合わせ工夫をしていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		広いスペースがきちんと整っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		パーティションで区切って個別の部屋としている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		振り返りを毎日している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		行っていた。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		振り返りの時間を設けて改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	7		できていない。今後検討をする。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		法定研修やその他の研修も行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか。	8		作成している。	
	13	放課後等ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		現場の職員も関わりながら行っている。	
	14	放課後等ディサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		出来ている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	アセスメント表を使っている。	アセスメントツールに関し、その内容を必要に応じて検討していく。
	16	放課後等ディサービス計画には、放課後等ディサービスガイドラインの「放課後等ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		5領域をふまえて話し合い支援内容を決めている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		現場職員みんなで話し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		利用児に合わせたメニューを毎日組んでいる。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別も行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎日必ず打ち合わせをして内容を決めている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		気が付いた点は口頭で打ち合わせをし業務日誌に記入している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		業務日誌に記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		6ヶ月ごとにモニタリングをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		ガイドラインを参考にして支援している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		自己決定するような声掛けを心がけている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		自発管と現場職員で参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		必要に応じて連携している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		適宜学校と共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		出来ている児童もいるが全てではない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	6		現在対象児がいらないが、必要になれば情報共有をする。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	7		児童発達支援センターとの連携はしていない。スーパーバイズに関しては、来年度に実施予定。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	7	現時点では交流の機会がない。	今後、地域の子どもの活動機会を検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1	定期的に子供支援部会に参加している。	参加をするスタッフが限られている為、年間の中で全員が参加出来るように調整をしている。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	送迎時に今日の様子などをお伝えしている。	共通理解を得られるよう、送迎時での会話や、面談等、積極的に行っていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	7		ペアレントトレーニングを実施できるスタッフがいない。ご家族の方に、外部での研修情報を発信していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		要望を聞いている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		送迎時に助言や相談にのっている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8		1周年イベントで父母会を行った。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		迅速に連絡を取り対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		SNSに活動の様子を載せている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	1	している。	ご家族様の希望に沿ったやり方で情報共有ができるよう、今後も配慮していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		地域住民の招待はできていない。今後の検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		訓練をしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		訓練をしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1	契約時に聞いている。	服薬・病歴に関しては契約時のアセスメントで確認している。予防接種歴に関しては確認をしていない。今後検討する。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		アレルギーについての確認は必ず行っている。	医師の指示書まで確認をしておらず保護者の方からのみ聞き取りを実施している。適宜、指示書の提出を提案してみる。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		している。	